

## 「茨城県那珂湊漁港津波等被害調査 現地活動報告」

REICでは、震災後「REIC 3.11 東日本大震災プロジェクト」を立ち上げ、現地での被害状況などの調査活動を行っています。この活動は、(独)防災科学技術研究所が進めている「ALL311 東日本大震災協働情報プラットフォーム」と連携しています。

今回は、茨城県那珂湊漁港で津波等の被害調査を実施しました。現地の被害状況を写真で紹介します。

(調査日：2011年9月4日(日) 調査員：水井、大園)



この写真は震災から半年弱の茨城県那珂湊漁港の岸壁の被害状況です。岸壁は約 100m以上に渡り沈下陥没し更に海側に押し出されて海面下まで落ちています。その為に水揚げの船が着岸できない状況です。奥に見えるのが那珂湊魚市場ですが、市場の被害も大きく、再開できたのが震災から半年近くと聞きました。



この写真は茨城県那珂湊市和田町の海岸に隣接した道路の被害状況です。浚渫土砂で盛り土をした所に道路が建設されていましたが、液状化、横滑りで、約 1m 程度の陥没といたる所に大きなクラックが発生し、現在も使用不能、通行止め状態にあります。



この写真は茨城県大洗町那珂川河口付近の津波による被害状況です。河川敷は小さな舟が着岸できる岸壁になっていましたが、津波で原型を無くしています。